

第3回 寝屋川市待機児童保育施設整備事業者選定委員会 議事要旨

1 日時

平成29年7月24日（月） 午後1時00分～午後4時00分

2 場所

- (1) 待機児童保育施設開設予定地
- (2) 応募事業者運営保育施設
- (3) 寝屋川市立保健福祉センター5階 会議室3-3

3 出席者

- (1) 委員（4名中 4名出席）
- (2) 事務局・関係職員

ア 寝屋川市こども部保育課課長	入江 智子
イ 寝屋川市こども部保育課係長	三木 博之
ウ 寝屋川市こども部保育課副係長	山口 めぐみ
エ 寝屋川市こども部保育課	長沢 彩佳

4 内容

- (1) 待機児童保育施設開設予定地の視察
- (2) 応募事業者運営保育施設の視察及びヒアリング調査

応募事業者が現在運営する保育施設の視察を行った後、応募事業者から提出された書類内容及び視察を踏まえ、ヒアリングを実施した。

<ヒアリングの概要>

Q1 応募動機について

A1 開設予定地にある保育園の旧園舎の立ち上げが発端となって、今は寝屋川・交野で高齢者部門等福祉施策に携わっており、今までの実績を踏まえ、子育て支援に役立てるよう貢献したいため。

Q 2 本園等から経験豊富な職員を異動するなど、保育の質の担保や向上に配慮した職員配置や職員採用計画について

A 2 新しい職員ばかりだと保護者も不安になるため、他園からの異動も考え、経験豊富な職員や中堅クラスの職員、色んな年代の職員を置くことによって構成していきたい。

Q 3 分園として事業を実施するにあたり、どのような保育を考えているか

A 3 分園のため、本園の保育方針と同じようにしたい。また、保育士との繋がりを密にし、家庭の延長のような温かく、のびのびとした保育をしたいと考えている。

Q 4 給食の搬入方法について

A 4 本園で調理し、温度・安全管理を徹底したうえで分園へ搬入する。また、分園で再加熱や保冷などできるようにし、安全でおいしい食事を提供したい。

Q 5 現段階での設計図面はどのようなものか。

A 5 0～2歳児で1部屋のため、こどもの年齢や人数に応じてパーティションで部屋を区切り、こどもたちのスペースを作る。また、自転車は敷地内に駐輪してもらい、近隣の迷惑にならないように注意する。

Q 6 待機児童保育施設が0～2歳児に特化した保育施設のため、どこに重点を置いて保育をするか。

A 6 こどもの情緒の安定を図るには、それぞれの決まった保育士との密なつながりが一番大事だと考えている。また、発達の問題や、急変時の対応もしっかりしていき、保育と医療に強い保育園を目指す。

Q 7 法人として十分なスタッフの数を持たれているようだが、人材確保について、どのように考えているか。

A 7 就職フェアで園のアピールをしたところ、新卒等の問い合わせが多くある。保育士が笑っていないと、こどもも笑わないから、保育士さんたちが笑って保育できるような環境を整えている。

Q 8 経験豊富なベテランの先生とこれから育っていく若い先生の割合は。

A 8 非常勤職員も合わせると 50 代が一番多いが、まばらに今の時点では揃っている。

(3) 評価の方法及び記入

評価方法として、委員が付けた点数を単純に積み上げた合計点数で選定すること、合計点数が 6 割である 240 点に満たない場合は、整備事業者を選定しない旨の確認を行い、委員の氏名、点数などの結果報告書は情報公開の対象になる旨の説明を行った。

(4) 選定評価結果の発表

委員長から委員の合計評価点数が 240 点を超えているため、社会福祉法人もくせい会を寝屋川市待機児童保育施設整備事業者を選定し、これを選定委員会としての結論にする旨の発表をした。

(5) 整備事業者選定結果報告書の作成

事務局から当委員会としての選定結果を事務局から市長に報告する旨の説明を行った。

(6) その他

事務局から選定委員会の選定結果をもとに、市が整備事業者を決定し、事業者に対して事業者決定の通知をする旨の説明を行った。また、市が事業者を決定し、公表するまでは事業者名を漏らすことの無いようにすること、公表後も不開示情報に該当する情報が含まれているため、知り得た秘密を漏らすことの無いようにする旨の説明を行った。

最後に入江保育課課長から委員へ挨拶を行った。